

一級建築士住所等の届出 セルフチェックシート

以下の内容について確認してください。本紙はセルフチェック用であるので提出の必要はありません。

No.	チェック項目	チェック欄 (該当ない場合は「-」を記入)	参照先
例	● 届出日を和暦で正しく記載している。	✓ (手書き可)	記入例 ①届出日
1	● 届出日を和暦で記載した(西暦は不可)。		記入例 ①届出日
2	● 本籍の記載は住民票の記載と完全に一致している(ex.「4丁目7番」の記載だった場合「4-7」の記載は不可)。		記入要領 ⑤本籍
3	● 住所は、免許証明書を受取可能な現住所を記載した(受取可能な住所の記載が優先されるので、住民票記載の住所と異なっても可)。		記入要領 ⑥住所
4	● 建築に関する業務に従事している場合、「業務の種別」を選択した(2以上の業務に従事している場合は、主に従事している業務1つだけを選択)。 ※建築に関する業務に従事していない場合は記入不要。		記入要領 ⑧業務の種別
5	● 建築士事務所に勤務している場合、開設者名を勤務先名称に併記した。		記入要領 ⑨勤務先名称
6	● 「本籍都道府県コード」、「住所都道府県コード」、「業務の種別」、「勤務先都道府県コード」を正しく記載した。		記入要領 ⑬本籍 ⑥住所 ⑧業務の種別 ⑩勤務先所在地
7	● A欄の姓名の記入について((1)(2)(3)いずれかに✓を記入)		
(1)	● 住民票の氏名表記が旧字で、旧字による免許証明書の作成を希望する場合、A欄の姓名記載の漢字も旧字で記載した(パソコン印字不可の場合は手書きで記載)。		
(2)	● 住民票の氏名表記が旧字だが新字による免許証明書作成を希望する場合、A欄の姓名記載の漢字は新字で記載した。		記入要領 ⑮姓名
(3)	● 住民票の氏名表記が新字の場合、A欄の姓名記載の漢字も新字で記載した。		
8	● 貼付する写真は記入要領に記載の規格等をみたしている(貼付写真により免許証明書を作成するので鮮明な写真とすること)。		記入要領 ⑭証明写真
9	● オンライン申請(書式Excelでの申請を含む)においてデータ添付の場合はJPEG形式のファイル1部(写真の画像サイズ:(推奨)縦915ピクセル、横665ピクセル)とし、そのファイルを縮小して住所等の届出書の顔写真欄に貼り付けた。		記入要領 ⑭証明写真

※一級建築士住所等の届出の記入例・記入要領については、(公社)日本建築士会連合会のホームページに掲載しています。